

**2014年度 法科大学院**  
**第3回 既修者入学試験問題**  
**3時限**  
**刑法(論文式)**  
**試験時間 60分**

**注意事項**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [刑法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

Xは、A県の総務部長であったが、1ヶ月後の3月末に行われる知事選挙に立候補した。その直後に、建設会社の社長YはXに対して会食を申し込み、高級料亭で接待した（料理代金3万円は、Yがすべて支払った）。

別れ際に、XはYに対して「いろいろとものやりだから、3000万円貸してくれないか。」と申し向けた。そこでYは、翌日Xの執務室を訪れ、現金3000万円を渡したが、借用証書は作成されず、利息も、返還期限も定められていなかった。

Xは、当該選挙に当選し、4月から始まる新年度において、大規模な公共工事を新たに認定し、その専属の請負先としてYを指名し、Yは当該事業を受注した。

### 設 問

以上の事例において、X、Yの罪責について論じなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)